



## 自動車のスライドドア挟まれ事故

国民生活センター危害情報システムには、2000年度以降2005年10月末までに、自動車のドアや窓等で身体を挟んだ事故は826件寄せられている。この中で、圧倒的多数を占めているのがドアにより挟んだというもの755件である。一方、最近では乗車定員が多く子供がいる家族向けに人気が高いミニバンを中心に、スライドドアを装備する車種が増えている。そこで、病院情報からドアでの事故についての分析を行うとともに、重篤な事例もみられるスライドドアに挟まれたときの衝撃力や、最近装備する車種が多くなっているパワースライドドアに挟まれたときの衝撃力、挟み込み防止機能の有効性などを調べた。

報告書概要は以下のURLからダウンロード可能；

[http://www.kokusen.go.jp/cgi-bin/byteserver.pl/pdf/n-20060110\\_1g.pdf](http://www.kokusen.go.jp/cgi-bin/byteserver.pl/pdf/n-20060110_1g.pdf)

スライドドアの場合、車の大きさ、平地か坂道か名度により衝撃力は異なり、因みに92 - 226 kgfの衝撃力を有し、ヒンジドアの56 - 95 kgfに比べ2倍以上の力がかかる事が判明した（報告書図7参照）。

機械の扉なども、挟まれの危険源となるので、設計者としてはデータを抑え場合により対応を配慮するという予防方策を講じておいたほうが良いでしょう。

本件、お問い合わせは、Schmersal 日本支社迄。